



奈良県宗教者フォーラム実行委員会では、毎年、日本のこころと宗教の役割を考える宗教者のフォーラムを開催してきました。これまで、日本の風土が持つ特性や、日本人の文化、伝統、精神性を見つめ直し、現代社会が忘れた日本のこころ、信仰を取り戻すことを共に願い、宗教的情操教育、宗教心の涵養、現代社会における救い、奈良に伝わる神仏習合の伝統、修験道を取り上げ、学びを深めてきました。本年は、修験道最終章として、『神と仏と日本のこころ―修験道の真実と未来』をテーマに、宮廷貴族の中の修験、庶民習俗の中の修験、日本及び世界の中の修験を通して神仏を敬い、自然とともに生きてきた祖先の姿に調和や共生を学び、現代社会が受け継ぐべき日本のこころを、皆さまとともに考えていきたいと思います。

公開講座

神と仏と 日本のこころ

修験道の真実と未来

第10回 奈良県宗教者フォーラム

平成25年
5月14日(火)

平和祈願祭
金峯山寺蔵王堂庭前大護摩道場
12時30分～14時20分(受付11時30分～12時20分)
※参加者のリボンをお受け取り下さい

シンポジウム
吉野山ふるさとセンター
14時50分～17時頃(受付14時から)
受付はいずれも吉野山ふるさとセンター

シンポジウム
テーマ:「修験道の真実と未来」

《パネリスト》



宮城 泰年
本山修験宗聖護院門跡
第五十二代門主
本山修験宗四代管長
「宮廷貴族の中の修験」

《コーディネーター》



田中 利典
金峯山修験本宗宗務総長
金峯山寺執行長



正木 晃
宗教学者
「日本及び世界の中の修験」



岡本 彰夫
春日大社権宮司
「庶民風俗の中の修験」

主催：奈良県宗教者フォーラム実行委員会
後援：奈良県／吉野町

